

**Likewise** Open

# Likewise Open インストール および管理ガイド

クイックスタート

最終更新日 : 2011 年 2 月 17 日

# 第1章 クイックスタート

## 目次

- [1.1. Linuxへのエージェントのインストール、ドメインへの参加、およびログオン](#)
- [1.2. 一般的なオプションの設定](#)
- [1.3. ドメインアカウントへの管理者権限の付与](#)
- [1.4. 最新バージョンへのアップグレード](#)

## 1.1. Linuxへのエージェントのインストール、ドメインへの参加、およびログオン

ここでは、システム要件およびクライアントの事前構成に関する情報を省略し、本題である Linux コンピュータへの Likewise Open のインストール、Active Directory ドメインへの接続、およびドメイン信用証明書を用いたログオンについて説明します (Unix へのインストールまたは Mac OS X へのインストールに移ります)。

ただし、テスト環境以外に Likewise Open を導入する場合は、あらかじめエージェントの概要、「エージェントのインストール」の章、「ドメインへの参加」の章、および「Likewise サービスの構成」の章をお読みください。

### 手順 1 : Likewise Open をダウンロード

<http://www.likewise.com/download/>に移動します。登録したら、Likewise Openのダウンロードページでお使いのプラットフォームのダウンロードリンクを右クリックし、Linuxコンピュータのデスクトップにインストーラを保存します。glibc 2.2 またはそれ以前を実行しているLinuxのバージョンの場合は、「glibc 2.2 またはそれ以前を使用しているLinuxにエージェントをインストール」を参照してください。

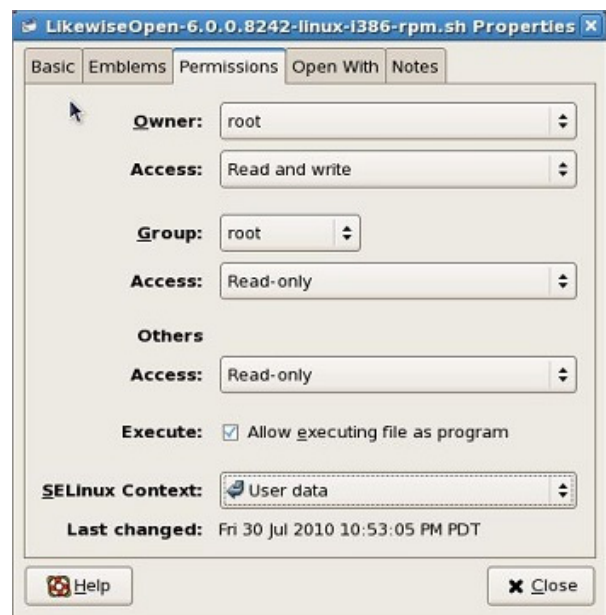
### 手順 2 : Linux に Likewise Open をインストール

自己抽出実行可能プログラム (ファイル名が `sh` で終わる SFX インストーラ) を含むシェルスクリプトを使用して、Likewise Open をインストールします。例を以下に示します。

```
LikewiseIdentityServiceEnterprise-6.0.0.3499-linux-i386-rpm.sh.
```

1. root として、インストーラを実行可能にします。デスクトップでインストーラを右クリックし、**[Properties(プロパティ)]** をクリックして **[Permissions(権限)]** タブをクリックします。使用しているオペレーティングシステムに応じて、**[Allow executing file as program(プログラムとして実行することを許す)]** を選択するか **[Execute for Owner(所有者に実行)]** を選択してから、**[Close(閉じる)]** をクリックします。

ダイアログボックスはプラットフォームによって異なる場合がありますことに留意してください。ポイントは、所有者を root アカウントに設定する必要があること、および読み取り/書き込み権限を持つ root アカウントでプログラムとして実行できるようにファイルを設定する必要があることです。



**ヒント** : コマンドラインでディレクトリをデスクトップに移動し、root としてまたは sudo を使用して `chmod a+x` を実行することにより、インストーラを実行可能にすることもできます。

```
chmod a+x LikewiseIdentityServiceEnterprise-6.0.0.3499-linux-i386-rpm.sh
```

Ubuntu で、`sudo` コマンドを実行してから `chmod` コマンドを実行します。

```
sudo chmod a+x LikewiseIdentityServiceEnterprise-6.0.0.3499-linux-i386-rpm.sh
```

2. root としてインストーラを実行します。

```
./LikewiseIdentityServiceEnterprise-6.0.0.3499-linux-i386-rpm.sh
```

3. インストーラの指示に従います。

**注記** : SLES や、ページ数が少なく設定されているその他のシステムでは、コマンド `q` を入力してエンドユーザーライセンス契約 (EULA) を終了する必要があります。

### 手順 3 : Active Directory に参加

ウィザードによる Likewise Open のインストールが終了すると、ドメイン参加用のユーザーインターフェースが表示されます。表示されない場合は、「コマンドラインを用いた Active Directory への参加」を参照してください。

コンピュータをドメインに参加させるには、root アカウントを使用する必要があります。また、コンピュータをドメインに参加させるための権限を持つ Active Directory アカウントのユーザー名とパスワードが必要です。

1. **[Domain(ドメイン)]**ボックスに、Active Directory ドメインの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。例を以下に示します。 `CORP.LIKEWISEDEMO.COM`



2. ログオンするたびにユーザー名またはグループ名の前にドメイン接頭辞を入力しなくてもよいようにするには、**[Enable default user name prefix(※デフォルトでユーザー名のドメイン接頭辞を有効にする)]**を選択し、ボックスにドメイン接頭辞を入力します。例を以下に示します。CORP
3. **[Organizational Unit(組織単位)]**で、**[Specific OU Path(特定の OU パス)]**を選択してボックスにパスを入力することで、コンピュータを OU に参加させることができます。OU パスは、Active Directory の最上位から該当する OU までです。（「単一の OU での Likewise の使用を参照してください。」）  
あるいは、コンピュータを Computers コンテナに参加させる場合は、**[Default (Computers or previously-joined OU)(※デフォルト (コンピュータまたは以前参加した OU) )]**を選択します。
4. **[Join Domain(ドメインに参加)]**をクリックします。
5. コンピュータをドメインに参加させる権限を持つ Active Directory アカウントのユーザー名およびパスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。

最初にドメインに参加した場合は、ログオンするにはコンピュータを再起動する必要があります。

問題を解決するには、「ドメイン参加の問題のトラブルシューティング」を参照するか、コマンドラインでコマンド (`domainjoin-cli --help`) を実行してください。

#### 手順 4 : AD 信用証明書を用了ログオン

ドメインに参加して Linux コンピュータを再起動すると、対話的にログオンするか、`DOMAIN\username` の形式で Active Directory 信用証明を使用してテキストログオンプロンプトからログオンできます。デフォルトドメインを設定している場合は、Active Directory ユーザー名を使用するだけです。

1. 現在のセッションからログアウトします。
2. Active Directory ユーザーアカウントの名前を使用してシステムコンソールにログオンします。

デフォルトドメインを設定しなかった場合、`DOMAIN\username` (`DOMAIN` は Active Directory のドメイン名) の形式で Active Directory ユーザーアカウントを使用してシステムコンソールにログオンします。例を以下に示します。

```
likewisedemo.com\kathy
```

**重要:** コマンドライン (例えば `ssh` コマンド) からログオンする場合は、スラッシュでスラッシュをエスケープし、`DOMAIN\\username` というログオン形式にしてください。

問題のトラブルシューティングを実行するには、「Linux でのログオン問題の解決」を参照してください。

## 1.2. 一般的なオプションの設定

ここでは、`root` として `lwconfig` コマンドラインツールを実行して、2 つの一般的な Likewise 設定 (デフォルトドメインおよびシェル) を迅速に変更する方法について説明します。

```
/opt/likewise/bin/lwconfig
```

`lwconfig` を使用して変更できる設定を表示するには、以下のコマンドを実行します。

```
/opt/likewise/bin/lwconfig --list
```

設定値を変更する構文は以下のようになります。`setting` は変更する Likewise オプションで置き換え、`value` は設定する新しい値で置き換えます。

```
/opt/likewise/bin/lwconfig setting value
```

`lwconfig` を使用して `AssumeDefaultDomain` 設定を変更する例を以下に示します。

```
[root@rhel5d bin]# ./lwconfig --detail AssumeDefaultDomain ❶
Name: AssumeDefaultDomain
Description: Apply domain name prefix to account name at logon
Type: boolean
Current Value: false
Accepted Values: true, false
Current Value is determined by local policy.

[root@rhel5d bin]# ./lwconfig AssumeDefaultDomain true ❷
[root@rhel5d bin]# ./lwconfig --show AssumeDefaultDomain ❸
boolean
true
local policy
```

❶	--detail 引数を使用して、現在の設定値を表示し、受け入れる値を決定します。
❷	値を true に設定します。
❸	--show 引数を使用して、値が true に設定されたことを確認します。

別の例を以下に示します。ドメインアカウント向けにシェルを設定するには、LoginShellTemplate 設定の後に希望のパスおよびシェルを指定して root として lwconfig を実行します。

```
[root@rhel5d bin]# /opt/likewise/bin/lwconfig LoginShellTemplate /bin/ksh
```

詳細については、「ドメインユーザーのホームディレクトリおよびシェルの設定」および「lwconfig」の章を参照してください。

### 1.3. ドメインアカウントへの管理者権限の付与

スーパーユーザー権限でコマンドを実行し、スーパーユーザーとしてタスクを実行できるローカル管理権限を Active Directory アカウントに与えることができます。

Ubuntu で、root として以下のようなラインを入力することにより、/etc/group ファイルの admin グループにドメインアカウントを容易に追加できます。

```
admin:x:115:LIKEWISEDEMO\kathy
```

その他の Linux システムでは、root として visudo コマンドを使用してファイルを編集することで、Active Directory グループのエントリを sudoers ファイル (通常は/etc/sudoers) に追加できます。ただし、sudoers の構成が不適切だと管理者のロックアウト、重要なアカウント権限の使用不能化、またはシステムセキュリティの脆弱化が起こる可能性があるため、sudoers ファイルの編集は上級ユーザーにのみお勧めします。

AD ユーザーアカウントの入力例 :

```
% LIKEWISEDEMO\domain^admins ALL=(ALL) ALL
```

**注記 :** 例は、ユーザーが Active Directory ドメインの管理者グループのメンバーであることを前提としていません。

sudoers ファイルの形式を指定する方法の詳細については、sudo に関するコンピュータのマニュアルを参照してください。

## 1.4. 最新バージョンへのアップグレード

Likewise Open 6.0 またはそれ以降では、Likewise Open 5 からシームレスにアップグレードできます。ローカル構成は保持され、Active Directory の状態は維持されます。Likewise Open 5.3 またはそれ以前を実行し、コンピュータがドメインに参加している間に Likewise Open 6.0 またはそれ以降をインストールするだけです。最新バージョンをインストールする前に、ドメインから離脱したり旧バージョンをアンインストールする必要はありません。インストール後も、ドメインに接続したままになります。

Likewise Open 6 は、Likewise のローカル構成に行った変更を保持します。アップグレード時に、Likewise Open 6 のユーティリティにより、構成ファイルはバージョン 5.0、5.1、5.2、および 5.3 からレジストリファイルに変換され、レジストリにロードされます。古い構成を取り込むレジストリファイルは `/tmp/lw-upgrade` に格納され、`/etc/likewise` にある元の構成ファイルは削除されます。

最新の Ubuntu 10.04 リリースでは `apt-get install` コマンドによって `likewise-open` パッケージを利用できるようになりますが、Likewise Open 6 のインストーラではパッケージからのアップグレードはサポートされていません。Ubuntu によって利用できるバージョンからアップグレードする前に、ドメインから離脱し、ドメイン参加 GUI パッケージ (`likewise-open-gui`) と `likewise-open` パッケージをアンインストールすることをお勧めします。

**重要:** 4.x またはそれ以前のバージョンの Likewise Open を Likewise Open 6.0 またはそれ以降にアップグレードする場合は、まず Likewise テクニカルサポート ([support@likewise.com](mailto:support@likewise.com)) にご連絡ください。現時点では、4.x バージョンから 6.x バージョンへのアップグレードを行う場合は必ず Likewise サポートにご相談ください。

